

家庭科学習指導案		
岡山県立岡山一宮高等学校 普通科2年6組		
令和4年11月9日(水) 第7校時 被服教室		
指導者 教諭 磯村 敬子		
単元	食生活をつくる	
主な学習活動		
第1次…2時間	食生活の課題について考える	
第2次…4時間	食事と栄養・食品	
第3次…1時間	食生活の安全と衛生	
第4次…1時間	生涯の健康を見通した食事計画	
第5次…4時間	これからの食生活・・・本時(3,4/4)	
第6次…6時間	調理実習	
↑ 発表は4時間目		
本時案		
目標	○健康で豊かな食生活を送るために、栄養のバランスがとれた献立を考えることができる。【思考・判断・表現】 ○外食、中食の長所と短所を理解した上で、上手に利用することができる。【技能】 i コンピテンシー：Ⅰ情報分析活用力 Ⅱ論理的思考力 Ⅲコミュニケーション力	
学習活動	指導・支援上の配慮事項	評価基準・方法
1. 本時の目標を確認する。	○4～6人のグループで座らせておく。 ○本時の目標、学習内容、流れを説明する。	
<p>Aさんは大学1年生で一人暮らしをしています。料理経験は、学校の調理実習でしたときのみで、一人で作ったことがありません。朝食は食べる習慣がなく、昼食は学食を利用、夜はコンビニの弁当を購入し自宅で食べています。最近体調がすぐれず、生活費がギリギリなのが悩みです。</p> <p>あなたはAさんから悩みを聞き、食生活のアドバイスをしてあげることになりました。Aさんが健康で無理のない食生活を送るための1日の献立内容を考えなさい。</p>		
2. ワークシートに従い、 <b>1</b> ～ <b>5</b> を行う。  (『これであなたもひとり立ち』知るぼると金融広報中央委員会のを利用)	○グループで意見を出し合うときは、jambord などを利用して意見を共有させる。 ○費用の面や料理の経験を考え、栄養バランスをとれた献立にしているかを判断させる。 ○献立のシールを貼るときは、配膳にも気をつけさせる。	○グループで課題解決につながる情報の分析ができる。(行動観察) ○グループで課題解決に必要な情報を組み合わせて結論を導くように話し合うことができる。(行動観察)
3. グループで考えた献立と作成にあたってのポイントを全体に発表する。	○ <b>5</b> について役割を決め、googleslideを利用して全体に発表させる。	○グループで考えた内容をまとめることができる。(発表内容)
4. 本時の活動から、自立した食生活を営むにはどのようにしていったらよいか、ワークシート <b>6</b> に記入する。	○学習をまとめ、本時の活動の評価をさせる。	○グループで考えたことや発表を聞いて、自分の意見を表現することができる。(プリントの記述)

